

Q19: ファイル出力した時の文字サイズを調整したい。

A19: 文字サイズの調整をする場合には、ファイル保存時に「文字高さの違いを調整する」にチェックを入れて下さい。(チェックを付けると文字高さ仕様の違いを調整して保存します)

DWG/DXF保存時の文字高さについて

Windows仕様(MTC製品)では、行全体の高さを指定するのに対して、AutoCADでは、アルファベットの高さを指定します。  
MTC製品で「文字サイズ10mm」と設定した場合、AutoCADで同じ文字高さにするには、7.695と指定する必要があります。

MTC製品で「文字サイズ10mm」とした場合  
(※各寸法はMSゴシックの場合)

Windows仕様(MTC製品)は「行全体の高さ」を指定する

AutoCADは「アルファベットの高さ」を指定する  
※Windows仕様の10mmと同じ文字高さにするには、AutoCADでは7.695と指定する

名前を付けて保存

保存する場所(D): DATA

名前	更新日時	種類	サ
現況取得サンプル	2019/01/10 14:31	ファイル フォルダー	

ファイル名(N):

ファイルの種類(I):

出力単位:  m単位  mm単位

×軸回転角の処理:  回転せずに出力  回転して出力

出力座標値の原点位置:  実座標  用紙の左下  用紙の中心

文字高さの違いを調整する

塗り潰しを出力

線形の円弧を折れ線化して出力

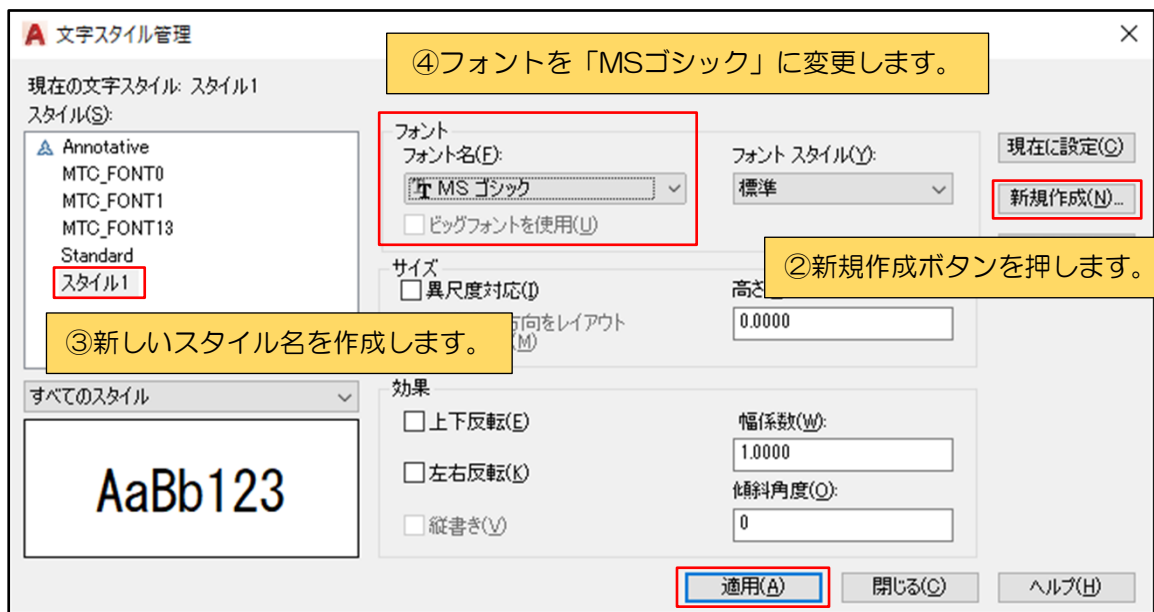
チェックあり: MTC製品で設定した文字高さ(行全体の高さ)をアルファベットの高さに調整します。  
チェックなし: MTC製品で設定した文字高さ(行全体の高さ)をそのままアルファベットの高さとして出力します。

参考：AutoCAD側でのフォント変更の操作例

■ 文字スタイル作成

AutoCADの文字スタイル管理で、MSゴシックを使用した文字スタイルを作成します。  
文字スタイル管理は「STYLE」コマンドで起動します。

① 「STYLE」コマンドで文字スタイル管理を起動します。

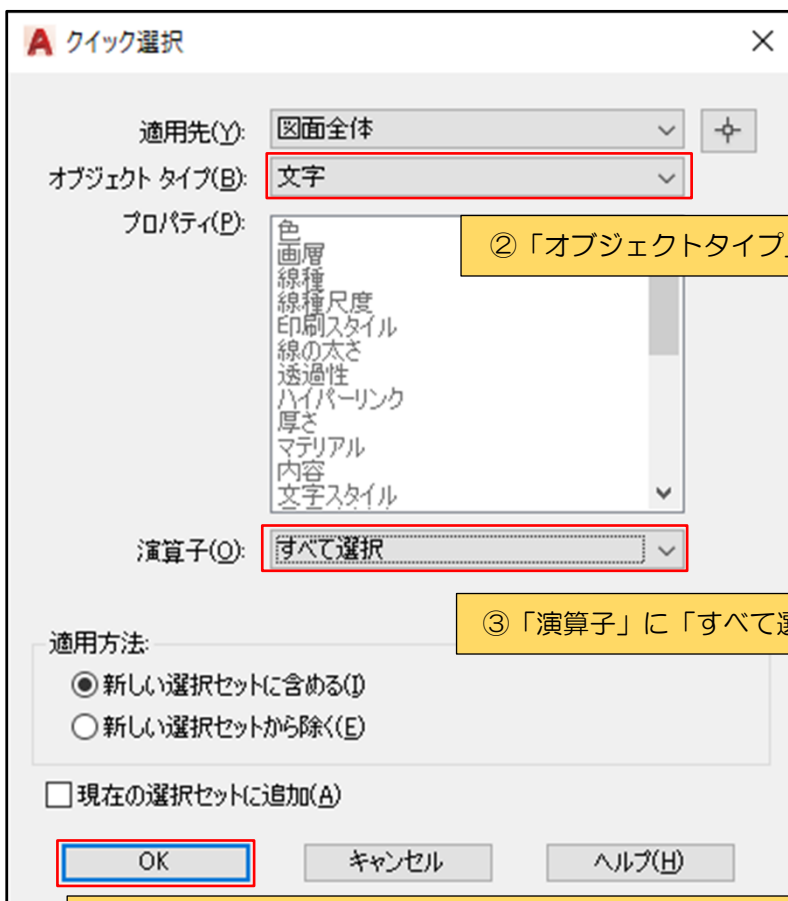


■ 寸法図形以外の文字のフォント変更

クイック選択コマンドを使用して、スタイルを変更する寸法図形以外の文字を選択後、プロパティで文字スタイルを変更します。

クイック選択は「QSELECT」コマンドで行います

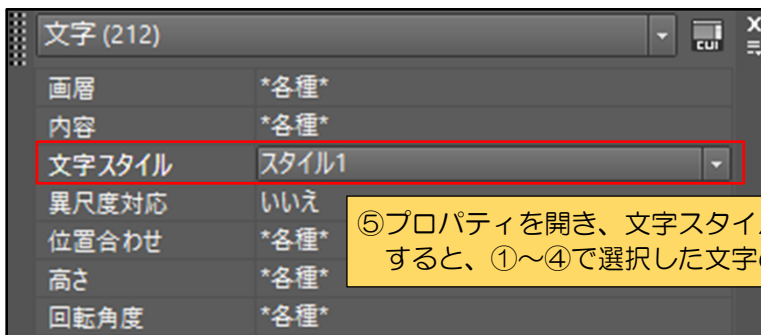
①「QSELECT」コマンドでクイック選択を起動します。



②「オブジェクトタイプ」に「文字」を選択します。

③「演算子」に「すべて選択」を選択します。

④<OK>ボタンを押すと、図面上の全文字が選択されます。

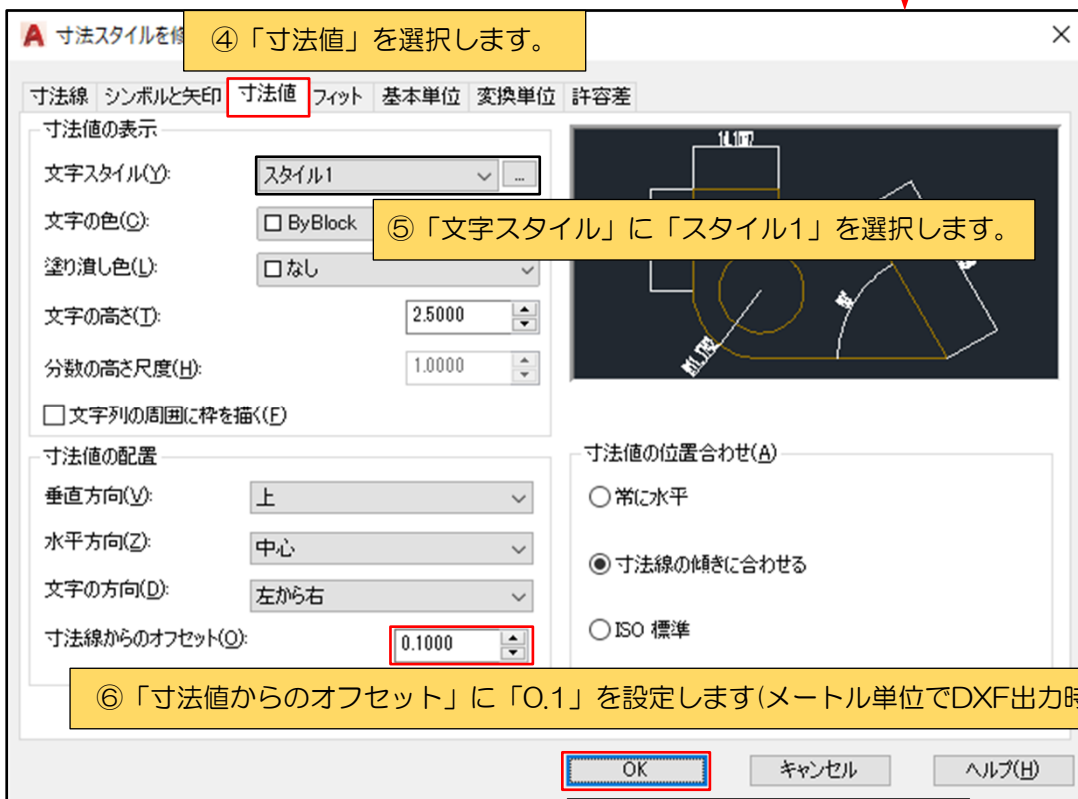
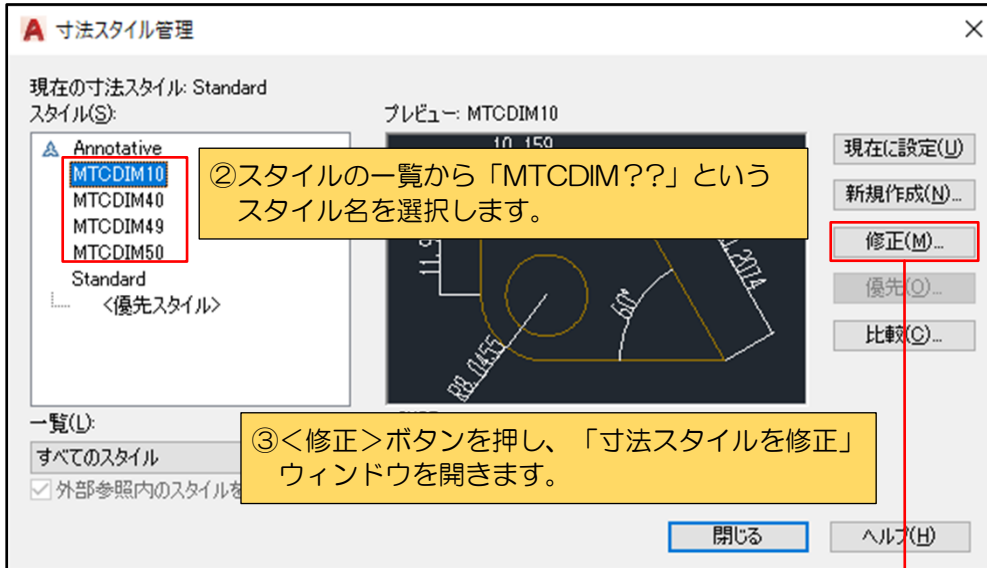


⑤プロパティを開き、文字スタイルを「スタイル1」に変更すると、①～④で選択した文字のフォントが変更されます。

■ 寸法図形の文字のフォント変更

AutoCADの寸法スタイル管理で寸法に使用する文字スタイルを変更します。  
寸法スタイル管理は「DIMSTYLE」コマンドで起動します。

① 「DIMSTYLE」コマンドで、文字スタイル管理を起動します。



⑦ <OK> ボタンを押します。

⑧ ②に戻り、「MTCDIM??」というスタイル名の文字スタイルを全て変更します。